

日本学術会議 心理学・教育学委員会
健康・医療と心理学分科会（第24期・第1回） 議事要旨

日時 平成30年2月8日（木）15:30-17:30

場所 日本学術会議 5-A（2）会議室

出席委員 長田久雄、小西行郎、坂本真土、佐々木淳、佐藤隆夫、重野 純、
鈴木伸一、住居広士、丹野義彦、箱田裕司、長谷川壽一、
福山秀直、松井三枝（五十音順）

オブザーバー 利島 保（前期 副委員長）

審議事項

1) 委員長・副委員長・幹事の選出

委員長に丹野義彦委員を、副委員長に鈴木伸一委員を、幹事に坂本真土委員をそれぞれ選出した。

2) 23期までの活動概要の報告

丹野委員長より23期までの活動概要の報告があった。20期(平成19年)に発足した本分科会は、23期(平成29年)に心理学教育プログラム検討分科会と合同で提言「心理学教育のあるべき姿と公認心理師養成—『公認心理師養成カリキュラム等検討会』報告を受けて」を発出したことが説明された。

3) 24期以降の活動について

丹野委員長より、上記提言の実現に向けて活動してはどうか提案された。すなわち、①資格教育だけでなく、学士力を担保したカリキュラムの作成、②大学間のコンソーシアム制度と単位認定、③5年後の見直しで、国際標準に沿ったカリキュラム改訂、④科目シラバスの明確化と実習マニュアルの策定、⑤国家試験の検証（とくに事例問題の根拠）が実現に向けて活動することが提案された。

鈴木副委員長より、本年3月に設立が予定されている「公認心理師養成大学教員連絡協議会」について説明があった。本分科会と連携して活動していくことが、上記提言の実現にもつながることが説明され、その方向で検討することとなった。

4) 次回の予定

平成30年6月8日（金）15:30-17:30

場所 日本学術会議